

COP28における採択内容（UAEコンセンサス）

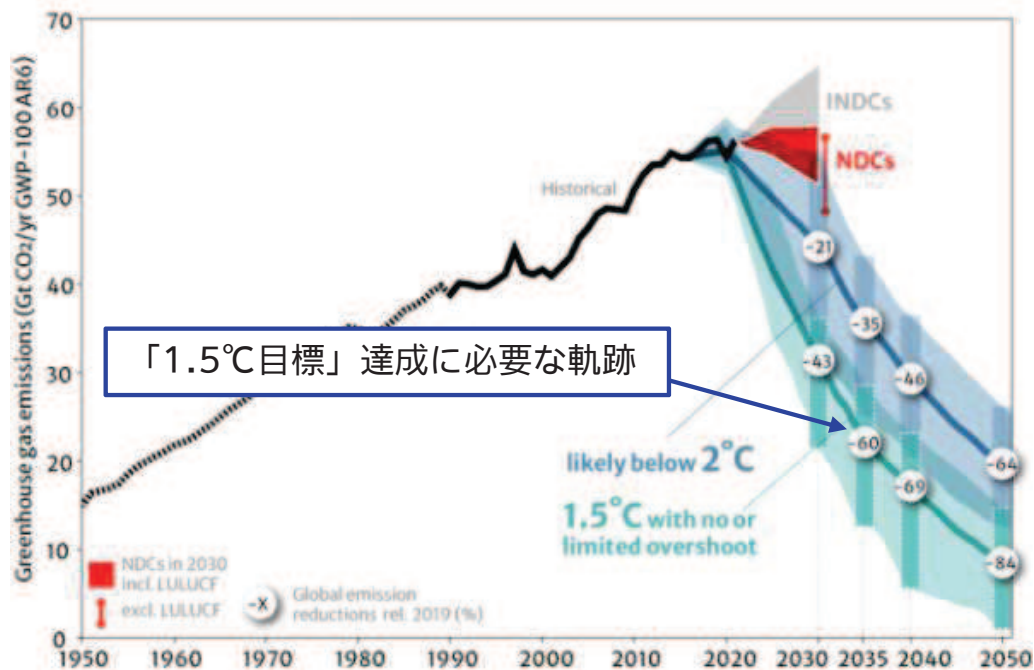
◆ UAEコンセンサスの概要（2023.12.13採択）

- 2023年は記録上最も暑い1年になることに深刻な懸念を表明。
- パリ協定の進捗評価（グローバルストックテイク）が実施され、現状では「1.5℃目標※」は到底実現できず、**温室効果ガス排出量を2019年比で2030年に43%減、2035年に60%減**と、大幅に減らす必要があると明記された。

※産業革命以前と比べ、2050年までの気温上昇を1.5℃に抑える



グローバルストックテイクの結果を受け、
各国は温室効果ガス排出削減目標を見直す必要がある。



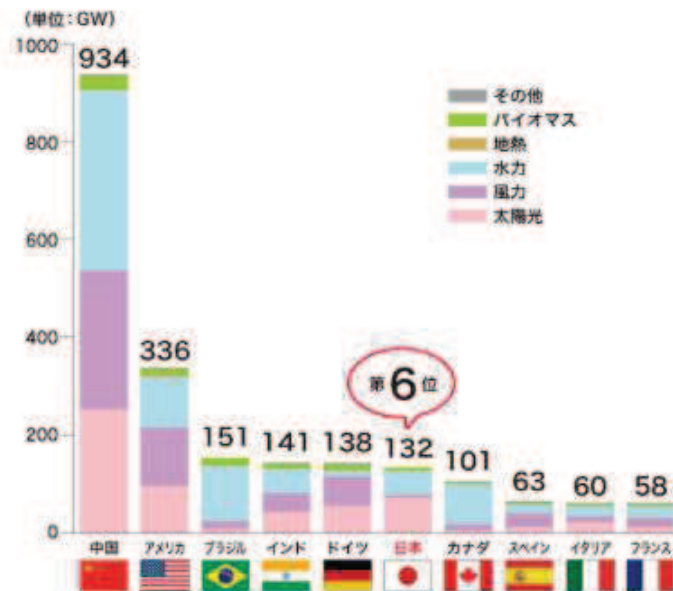
出典：第1回グローバルストックテイク統合報告書

主な決定事項

◆ 緩和策

- 2050年脱炭素に向けて、化石燃料からの脱却を加速
- 2030年までに再エネ発電容量を3倍**、エネルギー効率を2倍に
- CO₂以外の温室効果ガス（メタン等）の排出を削減

【各国の再エネ発電導入容量（2020年実績）】



出典：資源エネルギー庁

◆ 適応策

適応の世界目標（Global Goal on Adaptation）達成に向けた枠組みとして、テーマ別の目標と、適応サイクルについての目標を設定。

テーマ 水資源・水災害、食料・農業、健康、生態系・生物多様性、インフラ、貧困、遺産保護

適応サイクル 脆弱性評価 ⇒ 計画 ⇒ 実行 ⇒ モニタリング